



Business Report 2015

第41期
通期事業報告書
平成27年1月1日～12月31日

株式会社ジョイフル
〒870-0141 大分県大分市三川新町一丁目1番45号 TEL.097-551-7131(代)
<http://www.joyfull.co.jp/>



Business Report 2015

第41期通期事業報告書

Restaurant
Joyfull

経営理念 Management Philosophy

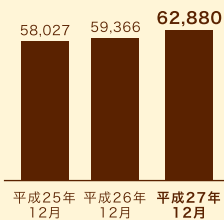
私達は、チェーンレストラン事業を通じ、
顧客・株主・従業員・取引先・社会の、
精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

ジョイフル 店員の誓い Our Promise

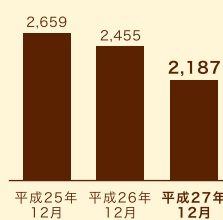
私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、
どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、
永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

連結業績 ハイライト Consolidated Results

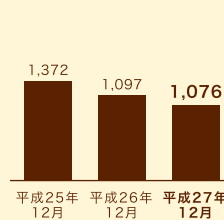
売上高



経常利益



当期純利益



※単位百万円

株主の皆様へ

2期連続増収。 創立40周年となる平成28年に過去最高の 売上高を達成する道筋をつけることができました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第41期(平成27年12月期)の通期事業報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますよう、宜しく願い申し上げます。

平成27年度の日本経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、企業収益の明確な改善により設備投資も持ち直し、全体として緩やかな回復を継続している状況で推移いたしました。

一方、外食業界においては、消費者マインドの持ち直しに足踏みがみられる中、異物混入問題などの食の安全に対する不信感の高まりや、円安の定着による原材料価格の高止まり、労働力不足による人件費の上昇などにより、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「私たちの街のレストラン」として、「お値打ち感を主とした商品の提供」と「お客様視点に立ったサービスの実践」に取り組み続けてまいりました。

商品施策では、商品力および提供品質の向上を軸に、多様化する消費者ニーズに対応した取り組みを行ないました。シニアのお客様に全時間帯モーニングをご注文いただけるようにしたサービスは、特にお客様から高い評価を得ることができ、客数増に寄与しました。

売上増に直結する新規出店に関しては、昨年に引き続き近畿圏を中心に出店し、結果、新店32店舗をオープンいたしました。平成27年は、年間最大の繁忙期である夏に好天に恵まれたこともあり、売上を着実に伸ばすことができました。

従来より課題として取り組んでいる店舗社員やパートアルバイトの「定着と採用」に関しても、引き続き取り組んでおります。

以上の結果、当連結会計年度におきましては、売上高は2期連続の増収となりましたが、原材料価格の高騰にともなう原価の上昇、および新規出店等にもなう関連費用の増加もあり、全店売上高は628億8千万円(前期比105.9%)、経常利益21億8千7百万円(前期比89.1%)、当期純利益10億7千6百万円(前期比98.1%)となりました。

弊社は本年創立40周年を迎えることができました。これもひとえにジョイフルをご愛顧くださるお客様、株主様のおかげと感謝しております。

本年度は過去最高となる売上計画を達成すべく経営活動を行なってまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも当社へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

穴見 くるみ



※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。

平成27年 主な取り組み結果

商品施策

モーニングサービスの向上と商品力の強化

少子高齢化、お客様のライフスタイルの多様化などに対応するため、シニアのお客様向けに、全時間帯でのモーニングメニューの提供を開始したほか、モーニングの提供時間を1時間延長し、朝5時から11時までとしました。このモーニング施策はお客様から高い評価を頂いており、近年伸び悩んでいた客数増加に寄与いたしました。

また、5月のグランドメニューの改定では商品ジャンルを増やし、中華風のメニューを追加いたしました。9月のグランドメニュー改定においては、長年、幅広い層に人気のあるチキン南蛮をリニューアルするなど、定番商品の品質強化にも取り組みました。さらに近年定着しつつある「ちょい呑み」の需要に応えるべく、「タコの唐揚げ」など、酒のつまみとなる商品の拡充を行いました。



チキン南蛮定食 590円(税込638円)
※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。

人材の育成と定着

店舗従業員の労働環境の更なる改善

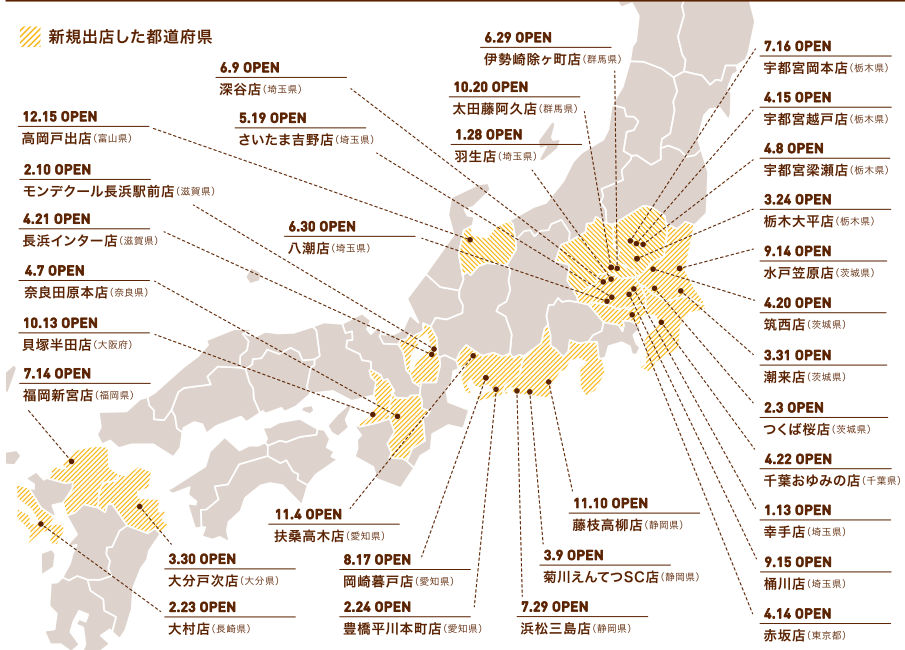
パート・アルバイトを含む従業員の安定した採用数の確保と定着率の改善に継続的に取り組んでおりますが、平成27年は特に「従業員の労働環境のさらなる改善」に注力いたしました。

外食産業の労働環境は概して厳しいのではないかといった風評があるなか、法の順守はもとより、当社は業界トップレベルの良き労働環境を構築すべく、様々な仕組みの改善に取り組みました。併せて、従業員の意識改革にも取り組みました。これらの活動により、従業員の離職率が改善しております。



出店施策

平成26年度を上回る32店舗の新規出店



平成27年度は、新規出店をさらに強化しました。近畿、中部、関東エリアを中心に新店を行い、直営店31店、フランチャイズ1店をオープンいたしました。また、平成27年は、ジョイフルが独自のノウハウを持つルーラル立地への出店に加え、東京23区内にフラッグシップショップとして赤坂店を4月にオープンさせております。これによりジョイフルブランドの店は、全国で762店舗となりました。新業態である陽菜多、はらぺこ丸を含めると、764店舗となります。この数は、昨年に引き続き、ファミリーレストラン業界第3位となっております。

経営施策

持株会社体制発足

平成28年1月1日を以って、持株会社体制に移行いたしました。

経営戦略機能と店舗の事業執行機能を分離することで、意思決定の迅速化を図るとともに、経営人材の育成、機動的かつ柔軟な事業運営を実現することを目的としております。

分割子会社は全11社となっており、いずれも100%子会社です。

フレキシブルな経営を実践することにより、過去最高となる売上高を達成してまいります。

株式会社ジョイフルグループ一覧			
株式会社ジョイフル関東・東北	株式会社ジョイフル西関東・北陸	株式会社ジョイフル東海	株式会社ジョイフル近畿
株式会社ジョイフル中国	株式会社ジョイフル四国	株式会社ジョイフル北九州	株式会社ジョイフル中九州
株式会社ジョイフル東九州	株式会社ジョイフル西九州	株式会社ジョイフル南九州	株式会社ジョイフルサービス



※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。期間限定のメニューの場合、販売が終了している場合がございます。

平成28年 主な取り組み

商品施策

商品力のさらなる強化

40周年を迎えた本年は、さらなる商品力強化に取り組みます。1月19日からスタートした「40周年ありがとう記念 第1弾 復刻メニューフェア」では、ジョイフルのハンバーグの味の原点を再現したジョイフルハンバーグを発売しました。おかげさまでお客様の好評を博することができ、2月にはグランドメニューの仲間入りを果たしております。また、「40周年ありがとう記念 第2弾」として、2月9日よりモーニングメニューを、いつでもどなたでもご注文いただけるようにいたしました。より幅広いお客様に繰り返しジョイフルをご利用いただけるよう、さらなる魅力的な商品の開発に努めてまいります。



ジョイフルハンバーグ&えびフライ 790円(税込854円)
※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。

人材の育成と定着

新人事制度等の導入

平成25年以降取り組んできた人材の育成と定着に加え、本年は新人事制度を導入いたします。少子高齢化などが進む中、定年制度の撤廃、子育て支援の充実、介護休暇制度などを導入いたします。ワークライフバランスのとりやすい、働きやすい職場環境を実現いたします。また、パートアルバイトの評価制度も刷新し、各々の努力が報われる制度を導入してまいります。コンプライアンスを意識し、労働基準法を遵守した労働環境を推進してまいります。

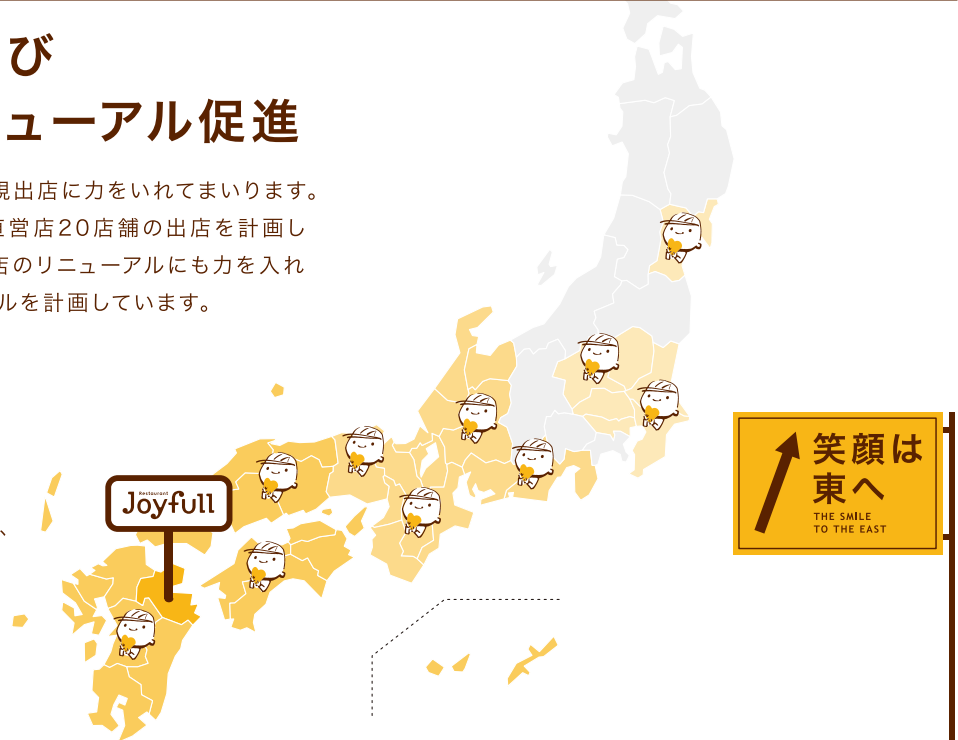


笑顔がある客席

出店施策

新規出店および既存店のリニューアル促進

平成27年に続き、本年も新規出店に力をいれてまいります。本年は近畿以東を中心に、直営店20店舗の出店を計画しています。また、今年は既存店のリニューアルにも力を入れる予定で、50店のリニューアルを計画しています。完全分煙と平成26年より実施しているコーポレートブランディングに則った店舗のリニューアルはお客様の好評を得、前年を越える売上高を達成しております。今後、弊社の成長に寄与するものと期待されます。



食の安全・安心

国際基準に合致した衛生管理手法の導入

お客様の食の安心・安全への関心が高まる中、ジョイフルでは一般衛生管理を基本に生物的・物理的なりスクについての管理を徹底してまいりました。本年からは、ハンバーグやステーキ、ソース類などの自社製造製品の安全性を確保するためのHACCP(危害分析重要管理点方式)のFAO/WHOの合同食品規格委員会のガイドラインに示された国際基準を導入すべく、活動を進めてまいります。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statement

資産の部

当連結会計年度末の総資産は253億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千4百万円の減少となりました。これは主に貸付金の増加1億1千万円、敷金及び保証金の増加7千4百万円、未収入金の増加4千3百万円、資産の控除科目である貸倒引当金の減少6千5百万円、現金及び預金の減少1億8千3百万円、繰延税金資産の減少1億5千万円、有形固定資産の減少7千6百万円、原材料及び貯蔵品の減少6千万円によるものであります。

Point

負債の部

当連結会計年度末の負債合計は103億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億1千4百万円の減少となりました。これは主に短期借入金の増加4億円、リース債務の増加3億7千1百万円、未払費用の増加9千5百万円、退職給付に係る負債の増加5千万円、資産除去債務の増加3千8百万円、賞与引当金の増加3千7百万円、長期借入金(1年以内返済予定を含む)の減少9億4千万円、未払金の減少2億5千万円、未払消費税等の減少2億4千5百万円、未払法人税等の減少2億2千9百万円によるものであります。

Point

純資産の部

当連結会計年度末における純資産は149億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加4億8千8百万円、退職給付に係る調整累計額の増加1千2百万円によるものであります。

Point

売上高

当連結会計年度における売上高は628億8千万円(前期比5.9%増)となりました。モーニングメニューなどを中心とした商品力強化が功を奏しました。

Point

経常利益

原材料価格の高騰、新規出店等ともなう関連費用の増加により、当連結会計年度における経常利益は21億8千7百万円(前期比10.9%減)となりました。

Point

連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当連結会計年度 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産	5,605	5,480
固定資産	19,855	19,866
有形固定資産	14,890	14,813
無形固定資産	67	72
投資その他の資産	4,898	4,980
資産合計	25,461	25,346
負債の部		
流動負債	7,992	7,207
固定負債	2,979	3,149
負債合計	10,972	10,357
純資産の部		
株主資本	14,518	15,006
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	2,390	2,390
利益剰余金	9,899	10,388
自己株式	△3,771	△3,771
その他の包括利益累計額合計	△29	△17
その他有価証券評価差額金	11	11
純資産合計	14,489	14,989
負債純資産合計	25,461	25,346

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自平成26年1月1日 至平成26年12月31日)	当連結会計年度 (自平成27年1月1日 至平成27年12月31日)
売上高	59,366	62,880
売上原価	20,912	22,687
売上総利益	38,454	40,192
販売費及び一般管理費	35,995	38,043
営業利益	2,458	2,149
営業外収益合計	154	139
営業外費用合計	158	101
経常利益	2,455	2,187
税金等調整前当期純利益	2,121	2,050
法人税、住民税及び事業税	1,073	831
法人税等調整額	△48	142
少数株主損益調整前当期純利益	1,097	1,076
当期純利益	1,097	1,076

※金額は百万円未満を切捨表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自平成26年1月1日 至平成26年12月31日)	当連結会計年度 (自平成27年1月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,920	2,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,123	△1,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,583	△1,166
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	213	△183
現金及び現金同等物の期首残高	3,074	3,288
現金及び現金同等物の期末残高	3,288	3,104

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、22億5千4百万円(前期比42.5%減)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益20億5千万円、減価償却費11億7千2百万円、減損損失2億8千3百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額10億4千5百万円であります。

Point

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、12億7千1百万円(前期比13.2%増)となりました。収入の主な内訳は、有形及び無形固定資産の売却による収入5億8千8百万円、貸付金の回収による収入8千万円であり、支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出15億7千8百万円、貸付けによる支出2億1千万円であります。

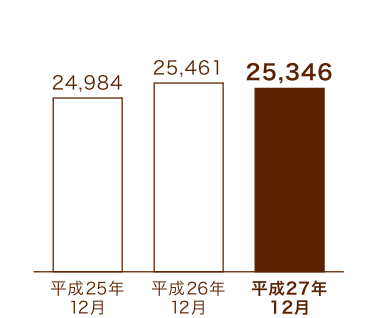
Point

財務活動によるキャッシュ・フロー

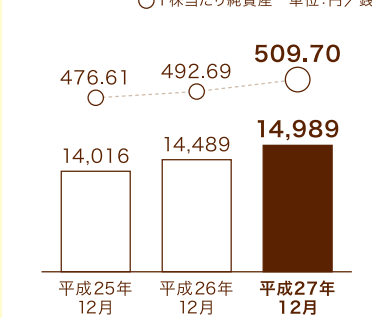
財務活動の結果使用した資金は、11億6千6百万円(前期比54.8%減)となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増額4億円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出9億4千万円、配当金の支払額5億8千7百万円であります。

Point

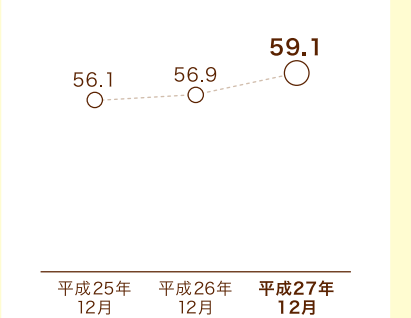
総資産



純資産



自己資本比率



株式情報
Stock Information

株式の状況

発行可能株式総数
120,000,000株

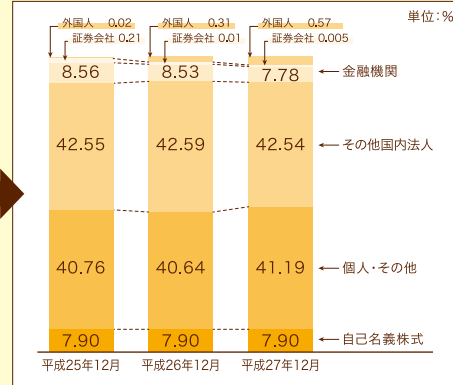
発行済株式総数
31,931,900株

株主数
12,592名

株式の所有者別状況

	平成25年12月31日現在		平成26年12月31日現在		平成27年12月31日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	9	6,598	9	4,572	7	1,772
外国人	14	66,100	18	99,400	26	183,500
金融機関	14	2,732,962	14	2,725,162	13	2,485,262
その他国内法人	77	13,585,980	82	13,600,080	86	13,584,180
個人・その他	11,027	13,016,678	11,577	12,978,822	12,459	13,153,224
自己名義株式	1	2,523,582	1	2,523,864	1	2,523,962
合計	11,142	31,931,900	11,701	31,931,900	12,592	31,931,900

株式の所有者別構成比率の推移



株主メモ

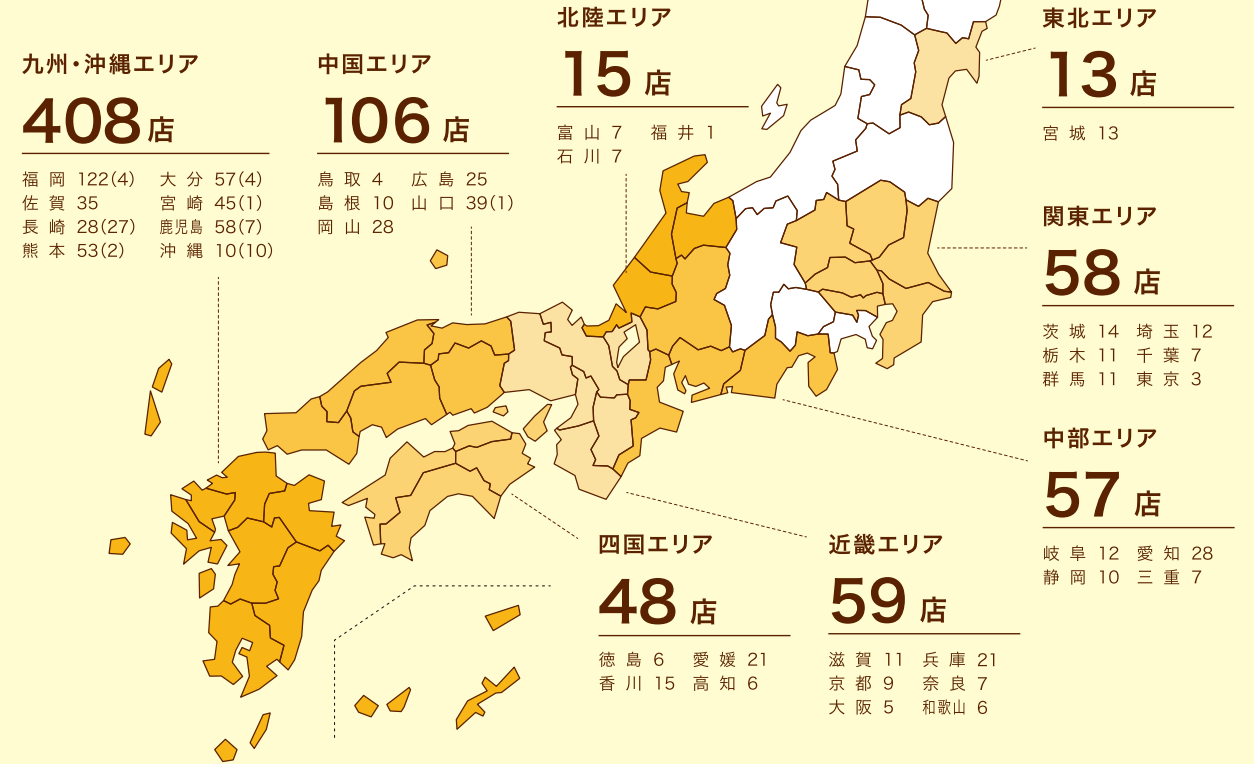
事業年度 毎年1月1日から12月31日
定時株主総会 毎年3月
基準日 定時株主総会の議決権/毎年12月31日
 期末配当金/毎年12月31日
 中間配当金/毎年6月30日(中間配当を実施する場合)
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
 本店および全国各支店で行っております。
公告の方法 電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により
 電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL <http://www.joyfull.co.jp/>
上場取引所 福岡証券取引所

- ◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- ◎未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- ◎「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

会社情報・
店舗情報
About Us

店舗一覧 店舗ネットワーク

764店 うちFC店舗56店
※()内はFC店舗



会社概要 (平成27年12月31日現在)

社名 株式会社ジョイフル
本社所在地 大分県大分市三川新町一丁目1番45号
大分工場 大分県大分市三川新町一丁目1番45号
大分配送センター 大分県大分市下郡3410番1号
熊本工場・配送センター 熊本県菊池市袈裟尾字下大迫445番4号
愛知工場 愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号
創業 昭和40年6月
資本金 60億円
創立 昭和51年5月
主な事業内容 「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開
連結子会社 株式会社ジョイフル東関東・東北/株式会社ジョイフル西関東・北陸/株式会社ジョイフル東海/株式会社ジョイフル近畿/株式会社ジョイフル中国/株式会社ジョイフル四国/株式会社ジョイフル北九州/株式会社ジョイフル中九州/株式会社ジョイフル東九州/株式会社ジョイフル西九州/株式会社ジョイフル南九州/株式会社ジョイフルサービス